

「神山ワーク・イン・レジデンス」

実施団体：NPO法人グリーンバレー（実施エリア：徳島県神山町）

本事業は中山間過疎地域である徳島県神山町において、「創造的過疎」のコンセプトのもと「人」に焦点を当て独自のまちづくりに長年取り組み、海外アーティストや企業のサテライトオフィスの誘致に成果を上げている。町内全域に敷設された高速ブロードバンド環境と事業推進プロセスにおいてICTの持つ力を活用し、既住民と移住者のコミュニティ、NPO及び行政との良好な関係を維持しながら、多様な働き方を実現するビジネスとして場の価値を高めて、農林業だけに頼らないバランスの取れた持続可能な地域を目指している。

事業化の背景

- 神山町は過去50年で人口が約3分の1に激減し、農業・産業の担い手不足や技術・伝統の継承は困難となり、住民生活そのものの安全と安心すら危ぶまれるほど過疎問題が深刻な状況となりつつあった。
- 1997年、県の「国際文化村構想」を具体化するプログラムとして「アートの力」に注目。1999年に毎年国内外のアーティストを招き、町内住み込みで創作活動を行うアートプログラム「神山アーティスト・イン・レジデンス（KAIR）」を開始した。
 - ▶ アーティストのロコミ等で年々評判が高くなり、定住を始める作家も表れる。一方、事務局はアーティストの民泊先や生活支援・アトリエとなる空き家の斡旋等の移住支援ノウハウを蓄積
- 2005年に町内に光ファイバ環境が整備されたことを切欠として新たな情報発信方策を探索。2007年外部有識者のアドバイスを得て、広範な「人」に焦点を当て、KAIRで培ったノウハウを活用できる若者移住支援プログラム「ワーク・イン・レジデンス（WIR）」を町の移住交流の支援事業を開始した。
 - ▶ 当初、職種技能を持つ人材の受け入れを想定していたが、事業を進める過程でICT関連事業者のサテライトオフィスのニーズがあることが判明し、県の協力を得ながら方向転換

事業内容

当NPOは、神山町の地域資源や地域サポーター情報等の発信を行い、活発な神山ネットコミュニティの就業希望者とのマッチングを行う「神山ワーク・イン・レジデンス」Webシステムを構築展開し、地域サポーターのICT人材育成から就業者テレワークネットビジネス支援まで、人材育成と情報通信技術により地域に新しい仕事や雇用の創出を支援している。

■ システムの特徴

1. 「神山ワーク・イン・レジデンス」Webシステム

地域の空き事務所等の情報発信と神山ネットコミュニティからの就業人材のマッチングを行う。

- ① 会員機能
 - ・ 会員を管理する機能を提供する。
 - ・ 会員情報登録、ブログ機能 等
- ② 募集機能・人材マッチング機能
 - ・ 人材を募集する機能を提供する。
 - ・ 人材スカウト機能、アピール登録機能、掲示板機能、つぶやき機能、アルバム管理機能、ビデオチャット機能 等
- ③ 地域資源活用促進機能
 - ・ 空き屋、空き店舗、空き耕作地の維持・活用支援、移住促進を行う機能を提供する。
 - ・ 空き不動産情報登録、契約結果登録、空き不動産の検索機能、アピール登録機能、空き不動産契約履歴検索機能 等

2. 神山ICT人材育成塾支援Webシステム

地域が求めるICT人材育成・支援を目的とし、各種講座の開設・運営のサポートを行う。

- ① 講座開設支援機能
 - ・ 講座開設に関連する機能を提供する。
 - ・ 講座情報登録、受講予約登録、有料講座の決済機能、掲示板機能、ビデオチャット機能、ホワイトボード機能 等
- ② 施設・機器予約
 - ・ 施設や機器の予約に関する機能を提供する。
 - ・ 機器予約登録機能、予約状況表示機能 等

導入費用

- 本システム導入の概算費用(実績ベース)
 - ・ 導入費用：約1,000万円
 - 内訳：システム開発・構築費800万円、機器等200万円
- ※本システム構築時からICTシステムのクラウド化・低単価化が進んでいるため、新規に導入する場合の費用等については次頁の問合せ先にご相談下さい。

【事業イメージ】

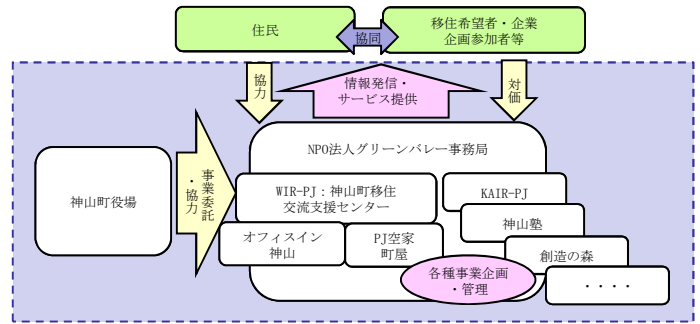


【公式サイト】



事業実施体制・運営状況

1. 当NPOを中心として、自治体はもとより産業団体、地域サービス事業者との連携を図る。また、地域交流イベント等の企画・運営を実施し、住民の参画への配慮を怠らない。
2. 企業、プロフェッショナル人材の誘致だけでなく、当NPOが地域の活性化を担う人材づくりを目的とした求職者支援訓練事業「神山塾」を開催する等、町の将来を担う若者の育成と定住も促進している。



ICT活用の3要素:「つなげる力」「見える化力」「横串を通す力」から見る、本事業の特徴・差別化要素

つなげる力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業基盤を「人」にフォーカスし、外来の人をスパイスとして地域コミュニティの構造改革・活性化につなげようとする住民一致の意思があり、ICTはそれを効果的に伝え、実現するツールに徹している。 ■ 本事業の会員情報から、町の将来に必要なと思われる担い手をあらかじめ想定して空き家の改修を行う等、移住者を効率的且つ効果的に誘致している。 ■ 求職者支援訓練「神山塾」を開講し、社会に出るための訓練だけでなく、卒業後は神山に移住を希望し、現地の企業に就職する方々も多く、人口の好循環が起きている。
見える化力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「気負いのない・ありのままの実情」を国内外に継続的に発信し、移住希望者に対して「期待値」を上げないことでミスマッチを防いでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ Webに日常の移住者等の就業及び生活の様子を数多く掲載 ■ ウェブサイトのアクセス解析を通して潜在利用者ニーズをくみ上げ、新規事業に開発に生かしている <ul style="list-style-type: none"> ➢ WIRのアイデアはHPの移住関連情報のコーナーへの県外(特に東京)からのアクセスが多い事実気が付いたことから
横串を通す力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事務局作業の負荷・コストは大幅に低減された。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ KAIRのアーティスト選考のための応募作品の管理は大変負担であったが、ブロードバンド環境により、大容量の画像データがスムーズ且つ安価にやり取りが可能となった ■ 空き家や耕作放棄地や再生サポートを新たな起業・就業者に提供する仕組みをICTで実現することにより、地域のサポーターである高齢者や就業希望者に雇用機会を提供している。 ■ 地域サポーターとNPOの連携が可能になり新たなコミュニティビジネスが創出されている。

事業の成果 (アウトカム/アウトプット)

- 現在12社のオフィス誘致や3年間(2010年-2013年)で58世帯105名の若年世帯移住を呼び込む等の成果につなげている。
- 構築したwebサイトも多数安定したアクセス数を維持している。

当サイトアクセス数の推移	H25上期 (4-9月)	H25下期 (10-3月)	H26上期 (4-9月)
当サイト月間平均アクセス件数	12,500件	14,000件	13,200件



今後の展望

- 実施事業の知名度も上がり、目標は順調に達成できている。今後は本事業で整備されたポータルサイト「イン神山」をベースに様々なまちづくり事業を展開し、それらの参加者や移住希望者等との人的ネットワークを一段と強化することで事業基盤をより確固にしていきたい。

<実施団体の横顔>



所在地：〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字中津132

<本件に関する問い合わせ先、導入検討・視察の相談等>
 特定非営利活動法人グリーンバレー事務局
 電話：088-676-1177 (代表)
 E-mail: greenvalley.kamiyama [atmark]. gmail.com

または<http://www.in-kamiyama.jp/shisatsu/>よりお問い合わせフォーム
 ※スパム対策としてメールアドレスを一部変更して記載してあります。
 eメールを御送付の際は、「[atmark]」を「@」に変えてご利用ください。